

富山県第2期SDGs未来都市計画(2022~2024)(概要)

参考資料2

第2期計画の主な追記事項

- ・カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを推進する
- ・「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた取組みにサーキュラーエコノミー(循環経済)の視点を取り入れる
- ・自律的好循環の形成に向けた取組みを推進する



本県が目指す「SDGs未来都市」の姿

本県発展の原点である「水」に焦点をあて、
2030年においても **美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県** を目指す

1 将来ビジョン

地域の特性

- ・立山連峰や美しい富山湾など、豊かで美しい自然環境
- ・「名水百選」、「とやまの名水」など全国に誇れる清らかな水環境
- ・日本海側の中心に位置、環日本海・アジア地域の拠点

2030年のあるべき姿

環日本海地域をリードする「環境エネルギー先端県とやま」

- ①世界に誇れる雄大な「立山黒部」や「世界で最も美しい富山湾」など美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県
- ②「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」が確立した県

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット

- 【経済面】美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かした経済発展
- 【社会面】カーボンニュートラルの実現に向けた「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立
- 【環境面】地域固有の自然環境・水環境の保全

2 自治体SDGsに資する取組

自治体SDGsに資する取組

【経済面】

- ①「立山黒部」の高付加価値化
- ②国際的ブランド「世界で最も美しい富山湾」の活用
- ③水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上
- ④カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの導入、新たなエネルギーの利用に向けた開発の促進

【社会面】

- ⑤脱炭素社会・循環型社会づくりの推進
- ⑥「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立

【環境面】

- ⑦立山黒部をはじめとする雄大で美しく豊かな自然環境の保全
- ⑧環日本海地域の環境保全への国際貢献
- ⑨清らかな水資源の保全と活用
- ⑩水と緑の森づくり

3 推進体制

各種計画への反映

- 総合計画等においてSDGsの理念に沿った取組みを推進。各種計画の策定時及び改訂時にSDGsの理念を反映し、SDGsに関連する各種事業を展開。
- 本県の「八つの重点政策」の「八十八の具体策」において、重点政策の1つにSDGs推進を掲げ、施策推進。

庁内関係部局との連携・予算との関連付け

- SDGsの取組みを推進するため知事を本部長とする「とやま未来創生推進本部」においてSDGsの取組みに関する施策の企画、調整及び推進等を行う。
- 県の各事業とSDGsの17のゴールとの関連付け、各種事業の推進に取り組む。

ステークホルダーとの連携

- 経済界、有識者、NPO等が参画する富山県SDGs推進連絡協議会を開催し、県内のSDGsの推進に取り組む。
- 富山市、南砺市などSDGs未来都市をはじめ、県内市町村と一体となってSDGs推進に取り組む。

自律的好循環の形成

- 富山県SDGs宣言事業
県内企業・団体等が自社の事業とSDGsの関連性を認識。県内企業等の成長・発展戦略に繋げる。
- 県と民間企業との包括連携協定によるSDGs事業の実施